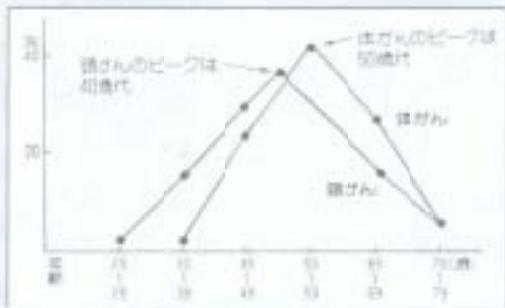


保健婦室から



今回は、子宮がん検診でたびたび受けた質問のいくつかについてお答えしたいと思います。

Q 開経後も検診を受けた方がいいのでしょうか？

A 子宮がんは閉経後でも発生します。高齢の方が検診を受けず、手遅れになるケースがよくあります。ぜひ、年に一度は受けてください。

がんは心臓病・脳血管疾患と並んで三大成人病の一

がんは死因の第一位

つ。高知県では、四十歳から七十九歳までの男性と二十歳から七十四歳までの女性についてはがんが死亡原因の第一



Q どんな方法で検診をするのですか？

A 子宮頸がん（八〇と八五円を占める）については、現在では「がん」になる十年くらい前から、おかしい状態をつかまえることができます。

Q 子宮がんには種類があるのですか？

A 子宮頸がん・子宮体がんの二種類があります。この二つに同じ子宮にできるのです。が、別のがんです。

位を占めています。私たちの体の中の細胞にはがんの遺伝子があって、普通は細胞の増殖をコントロール

ノックアウト



Q 検診を受けるには長時間かかりますか？

A 電話予約で受付時間も決めていますので、待ち時間は短くてすみます。なお、地区での検診時には併せて乳がん検診もしていますので、一緒に受けられるとよいでしょう。

普段の生活習慣に注意してがんにかかるないようにするのももちろんですが、たとえがんになってしまっても早目に発見して治療すれば治る確率は高くなります。危険性は誰にでもあります。

子宮がん検診のお知らせ

30歳以上の方を対象に次の通り市内の産婦人科で子宮がん検診を行います。受診を希望される方は市役所保健課保健係（四市役所内線141）まで電話でお申し込みください。申し込みの期満切切りは検診日の2週間前です。

◆とき

8月18日(火)・19日(水)・20日(木)

午後1時30分から受付

◆ところ なんごく産婦人科

曾根産婦人科

◆検診料 子宮頸がん 700円
子宮体がん 500円

※身体障害者の方と被保護世帯、市民税非課税世帯の方は無料になりますので申し出ください。

特に子宮頸がんについては早期に治療すれば100%治るため、検診が普及して早期発見・早期治療が可能になりましたことから、ここ三十年余りのあつた方で、医師が必要と認めた方に実施します。

受診率が高いほど少ないがん死亡

奥内そのさん（46歳）



三十歳を過ぎたらがんの年齢といいますし、検診ってどんなものかなと思って今年初めで受けてみました。割りと簡単に終わって、結果も異常なし。やっぱり受けたければ安心ですね。

分近くになっています。

実際高知県でも検診の受診率が高い市町村ほどがんで死

亡する割合が低く、子宮がんでは受診率が20%を超える市は「四日市」。

検診を受けてがんをノックアウトしましょう。

